



特定機能病院 / 地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター 広報誌

おいでだより

Take
free

Osaka International Cancer Institute

季刊

Vol. 006

2022 Spring

★ CONTENTS

- 02 がんゲノム医療
- 03 共同研究の成果が英文医学雑誌に掲載されました
- 04 アート作品を入れ替えました
- 05 ワールドキャンサーデー「がん患者を支える」
- 05 成人病公開講座（オンライン配信）
- 06 メディカルゲートのご案内
- 07 センター内ヘアサロン「こもれび」のご紹介
～患者さんに寄り添えるサロンを目指して～
- 07 【連載】はい、こちら「がん相談支援センター」です
- 08 ご寄付について



がんゲノム医療

◆がんゲノム医療とは？

「がん」は遺伝子異常に起因しており、がん細胞のゲノム（約 23,000 個の遺伝子からなる）の異常をターゲットにした治療が「がんゲノム医療」です。がんゲノム医療は令和元年 6 月に始まり、令和 3 年 10 月末時点では全国で 23,768 人の患者さんに実施されました。

従来は遺伝子を調べて（「コンパニオン診断」）、異常によって薬を投与し効果を上げてきましたが、この方法は 1 回の検査で 1 つの遺伝子しか分析できませんでした。しかし、技術の進歩により、多数の遺伝子を一度に分析する「パネル検査」* が可能になりました。

* 「NCC オンコパネル」は 124、「FoundationOne®CDx」は 324 の遺伝子が分析可能

◆当センターの取り組み

がんゲノム医療を受けるには「標準治療が終了していること」が条件で、対象の病院は「ゲノム拠点病院」「ゲノム連携病院」です（大阪では 17 病院）。現在のパネル検査は 124 または 324 の遺伝子を分析していますが、人の遺伝子数が約 23,000 個と考えるとまだ少ないという意見もあります。わが国では、全ての遺伝子を分析する「全エクソーム検査」、全ての DNA 配列を分析する「全ゲノム検査」を今後進めようとしています。従来は分からなかった異常がたくさん見つかかり、治療につながる可能性が高まると期待されています。

当センターでもそれに合わせて、窓口のがん相談支援センター／診療担当の遺伝子診療部・ゲノムコーディネーター／サンプルを作成する病理検査室／エキスパートパネルの担当部門などが連携し、早い段階からがんゲノム医療を進めてきました。上記のような課題もありますが、今後もより多くの患者さんが治療を受けられるよう、努力してまいります。

◆当センター病院サイト

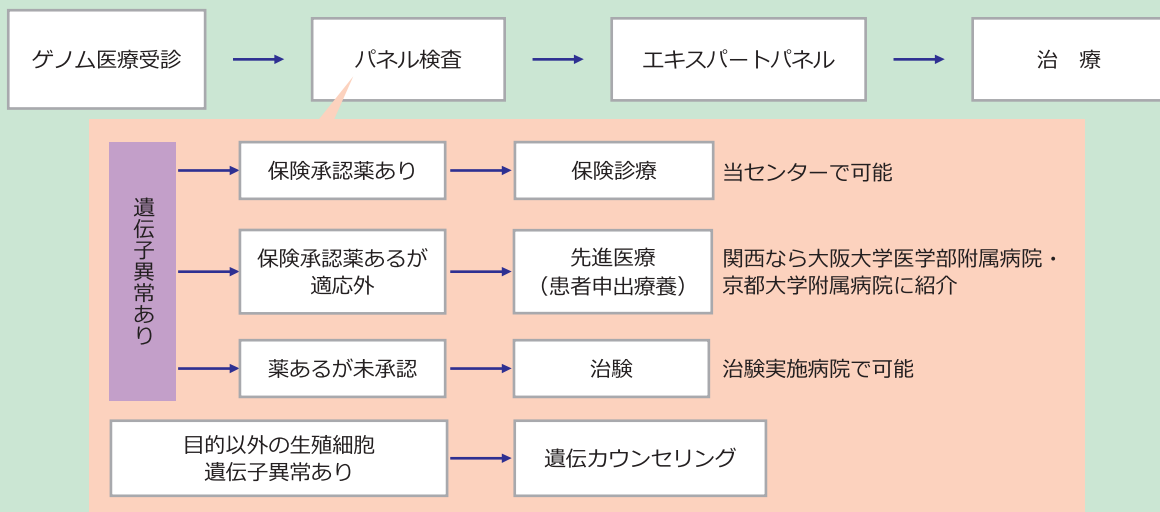
[がん相談支援センター](#)



[がんゲノム診療科](#)



ゲノム医療の流れ



図：ゲノム医療は、パネル検査から見つかった遺伝子異常と対応する薬によって「保険診療」「先進医療」「治験」のいずれかにつながる。目的以外の生殖細胞遺伝子異常がたまたま見つければ「遺伝カウンセリング」につながる。

肝胆膵内科との共同研究の成果が英文医学雑誌*¹ に掲載されました

研究所 がん創薬部 江川 智哉

オルガノイド培養法とその課題

当センター研究所がん創薬部では、がん患者さんの腫瘍の特徴を維持したまま安定的に細胞を培養する“オルガノイド (organoid) ”^{*2} 培養法”を用いた研究を進めています。

この培養細胞を臨床現場で有用なものにするには課題があり、特に患者さんに負担をかけずに腫瘍細胞を入手する難しさがありました。膵がんの針生検は、超音波内視鏡下穿刺吸引法^{*3}により腫瘍組織を採取しますが、従来は培養用に診断目的とは別に複数回針を刺す必要がありました。

研究内容

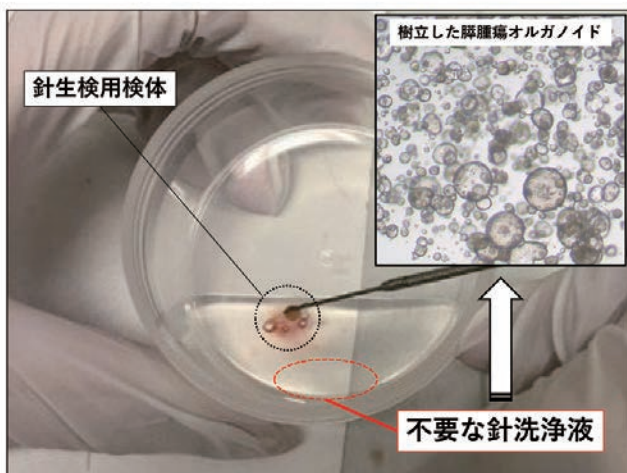
そこでわれわれは、細胞診のために刺した針を生理食塩水で洗浄した際に生じる「洗浄液」に着目し、肝胆膵内科/消化器外科/病理・細胞診断科との共同研究を始めました。今回論文では、洗浄液に残存する細胞から、安定的に腫瘍オルガノイドを培養する方法を確立したことを報告しました。樹立した腫瘍オルガノイドから作製した標本の病理組織像は、患者さんの腫瘍から作製した組織像と非常に類似しており、細胞の性質を維持していると考えられます。

腫瘍オルガノイドは凍結保存でき、種々の基礎研究に用いることも可能です。洗浄液を活用するため、針を刺す回数増加による合併症のリスクを高めることなく、安定的に細胞を培養でき膵がん以外のがんにも広く応用可能です。

今後について

研究所で培われた基礎研究技術を、実際の臨床の場に生かすことにより先進的な医療の開発につながると期待しています。また、医療倫理を担保したうえで、格段に多くの患者さんの検体が採取でき、創薬基礎研究を加速できると考えております。

今後も引き続き、当センターの臨床に携わるスタッフと共に、膵がんをはじめ難治がんの新規治療・診断法の開発を目指し、研究を続けてまいりたいと思います。



- * 1… Ikezawa & Ekawa et al., “Establishment of organoids using residual samples from saline flushes during endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration in patients with pancreatic cancer” Endosc Int Open.2022 Jan 11;10(1):E82-E87 PMID: 35036290
- * 2… organ (臓器) に、～状のものを意味する接尾辞 -oid を併せた造語
- * 3… 超音波内視鏡を用いて細い針を刺し、腫瘍細胞を採取する検査

アート作品を入れ替えました

患者さんの視点に立ったサービスの提供の一環として、癒し（精神的ストレス軽減）となる環境を整えています。その中で“アートな病院”を目指し、大阪府の協力の下、5年前に公募した絵画や『大阪府 20 世紀美術コレクション』のアート作品から計 103 点を展示しています。

当センター外来・病棟の廊下や、特別病室・人間ドックの室内など、それぞれの空間に合ったコンセプトを設定し、大小さまざまな絵画や写真でバラエティ豊かな内容となっています。

外来化学療法室前



木村 嘉子《丸の作品（8）》《地上一尺》《丸の作品（2）》

丸の作品（8）は、にじみ出ているような淡い赤色が印象的で、柔らかい丸みをおびた線によって表現された空間が、見る人に包み込むような心地よさを感じさせます。



採血室前



木村 嘉子《作品口》《作品 3-82》《JOH40-S》

相談支援センター前



白旗 史朗《お花畑に遠く》《ミヤマキリシマ燃え咲く》

山岳写真家として、切り撮った壮大な山並みと美しい植物たちの姿や、花々の色鮮やかさに目をうばわれると共に、山の斜面が入り込み臨場感があふれています。

病気を抱えた患者さんにとって“病院”という無機質な雰囲気ではなく、現代的なアート作品で気持ちを快活にさせていただいたり、抽象的なアート作品で想像力を働かせていただいたり、治療への効果も期待しています。ご来院の際は、ぜひお立ち寄りになってご覧ください。

ワールドキャンサーデー「がん患者を支える」

令和4年2月4日（金）、ワールドキャンサーデーの日に、UICC※（国際対がん連合）日本委員会は記念イベントを行い、当センターは「がん患者を支える」というテーマの討論会を行いました。

ワールドキャンサーデーは、平成12年2月4日、パリで開催された「がんサミット」から始まったUICCの取り組みです。今年度は、がん治療の公平性が損なわれている現状を認識し、医療へのアクセスにおいて多くの人々に存在する障壁と、それが社会に与える影響を捉え直すキャンペーン「Close the Care Gap!」の初年度です。

当センターからは総長 松浦、がん対策センター所長 宮代、がん相談支援センター長 池山が参加、NPO 法人 つながりひろばからは笹田理事長をお迎えしました。「就

労支援」「アピアランスケア」「AYA 世代へのサポート」「QOL（生活の質）の向上」「希少がん」について、当センターやNPO 法人つながりひろばが取り組んでいる最新の情報が紹介されました。

アーカイブとして動画が公開されていますので、ぜひご覧ください。



※ Union for International Cancer Control : 昭和8年に設立した、世界的な広がりを持つ民間の対がん組織連合



成人病公開講座（オンライン配信）

当センターでは、成人病公開講座をオンライン配信しております。令和4年2月9日に「がんの予防と検診」と題し、第94回成人病公開講座を開催いたしました。たばこの有害性やがん検診の重要性について、よく分かる講演となりました。

これまでに開催いたしました、第90回「脂肪肝、肝炎、肝がんに対する治療の進歩」、第91回「頭頸部がんと食道がん－最新の治療」、第92回「希少がんと希少がんセンターの役割」、第93回「がんと認知症」につきましても、当センターのホームページ(右記QRコード)より、視聴いただくことが可能です。



成人病公開講座では、当センターの担当医がそれぞれのがんの特性や診療・治療に関して解説、それらの医療

に対する連携などの取り組みを紹介しています。司会より講演者へ質問を投げかける形で活発な議論も行われ、充実した内容となっていますので、ぜひご覧ください。今後もより多くの府民の皆さまにお届けできるよう、工夫してまいります。



メディカルゲートのご案内

「メディカルゲート」をご存じでしょうか。メディカルゲートは大変便利なシステムで、当センターでは、患者さんの待ち時間対策の取り組みの一つとしてご加入をお勧めしています。

「メディカルゲートの特徴」について、下記の5つのメリットがあります。

5つのメリット

- 1 カード引き落としによる後払いシステム
- 2 会計に並ばないため待ち時間なし
- 3 加入手数料・年会費がかからない
- 4 簡単な手続きで入会したその日から利用可能
- 5 領収書、診療明細書は Web で確認

▲当センターに設置しているチラシ

総じて病院では、会計待ちが発生します。一般的な外来会計は、診察後、会計窓口まで患者さんにお立ち寄りいただき、その後計算、請求、精算という流れになります。入院会計は、ご退院時にご一括でお支払いいただくため、会計窓口にて長時間お待たせすることもあります。会計システムの発展により以前と比べて改善してきました。しかし、当センターにおいても混雑する時間帯は、少なからず患者さんにお待ちいただいているのも事実です。

そこで、当センターでは後払いシステム「メディカルゲート」を導入いたしました。後払いのため、外来時は会計窓口にお立ち寄りいただいたり、入院時はご退院日にお部屋でお待ちいただいたりする必要がありません。それぞれご加入時にご登録いただいたクレジットカードに請求をいたします。また、当センターからの請求は、患者さんがお買い物などでご利用になられたクレジットカード会社からの月々のご請求と同様にお引き落としされます。メディカルゲートをご利用いただいた場合、お買い物などでご利用されたクレジットカード決済と同様の特典も受けていただけます（※クレジットカード会社とのご契約状況により異なりますので、ポイントの還元率や各種特典についてはクレジットカード会社にご確認ください）。

最後に、メディカルゲートのご加入は当センターでの滞在時間の短縮に役立っています。コロナ禍では、滞在時間の短縮は感染拡大防止にもつながると考えていますので、まだご加入されていない患者さんは、ぜひこの機会にご加入ください。加入手数料・年会費など、ご加入に際し一切患者さんにご負担いただく費用はございません。お申し込みは、当センター 1階総合案内にてスタッフが対応させていただきます。スマートフォンなどでのご加入時の登録作業をお手伝いいたしますので、皆さまのご加入をスタッフ一同、心よりお待ちしております。

患者さんのお気持ちに寄り添えるサロンを目指して

ヘアサロンこもれびでは、ウィッグのことはもちろん、抗がん剤の副作用に伴うシャンプー剤の選択やネイルケア、その他術後の負担軽減から下着も取り扱い、サポートさせていただいております。また患者さん対象のイベント「スキンケア教室」では、脱毛に関することや頭皮ケアについてご説明させていただき、患者さんへの利便サービスを提供しております。

その中でも常に「心から患者さんに寄り添う」を合言葉としてスタッフ一同 OneTeam で取り組み、癒しの空間としても活用していただければという思いで、患者さんと接しています。

今後も院内サロンの役目として、患者さんが求める事にしっかり対応し「必要とされ、信頼される」場所になるよう、そして患者さんのお気持ちに応えられるように

努めてまいります。

現在コロナ禍においては、業務柄、患者さんとの距離が近いため、マスク着用をはじめ基本的な感染対策を徹底し、医療機関に従事する者として真摯に取り組んでまいります。



はい、こちら「がん相談支援センター」です

がん相談支援センター 岡本 美佳

【file 006】

当センターの相談ホットラインについて

当センターには、現在2つの相談ホットラインがあります。

がん相談支援センターでは、専用電話による「がん相談ホットライン」を設けています。がん患者さんはもちろん、そのご家族、また当センターで治療を受けていない方もご利用いただけます。「がん相談ホットライン」ではがん専門相談員（看護師や社会福祉士）が、がんに関する不安や疑問などのご相談に対応しています。

直接ご相談に来られない方でもお気軽にご利用いただき、匿名でのご相談も可能です。がんの診断を受け、治療を受けるにはどんな医療機関があるのか、施設別がん登録データから、施設ごと、がん種ごとの治療実績などの情報提供を行っています。

また、希少がんセンターでは「希少がんホットライン」を設けています。「希少がんと診断されたが、治療実績のある医療機関がどこにあるか知りたい」などのご相談に対応しています。

お電話では、個別の治療内容や診断に関する部分はお応えが難しいこともありますが、お困り事の内容を一緒に整理させていただきます。次の診察で主治医に「何を」「どのように」質問すればよいかの整理や、主治医をはじめ、スタッフと共にによりよい関係性のもとで治療を進めるためのお手伝いをします。

下記のとおり、開設時間内で対応しておりますので、どうぞご利用くださいませ。

電話対応時間：月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く） 午前10時～午後4時

♥がん相談ホットライン（情報提供・相談専用）
☎ 06-6945-1870

♥希少がんホットライン
☎ 06-6945-1177

ご寄付について

寄付者ご芳名

2022年1月～2022年3月

受領日順／ご希望者のみ掲載

濱田 チヌ子様、梅田 ことみ様、安井 淑子様、西山 通様、西山 恵文様、西山 碧様、西山 愛芽様、
西山 力丸様、朝倉 盛貴様、朝倉 優様、江 尚恩様、西山 佐紀様、篠川 清子様、亀井 弘匡様、
山田 巻治様、永野 一智様、酒井 眞弓様、徳永 弘通様、藤高 賀市様、井吉 富三郎様、木村 純様、
飯藤 順一様、別府 良子様、大社 貴子様、中村 晴代様、寺野 滋子様、神田 秋子様

他 匿名者 11名

このたびもさまざまな個人や法人の方々から、貴重なご寄付を頂きました。ありがとうございます。
この温かいお心遣いに感謝するとともに、このご厚意に報いるべく、これからも患者さんにより良い
医療とサービスを提供してまいります。

ご寄付のお願い

当センターは、常に「患者さん目線」で治療に当たる病院でありたいと
考えています。患者さんの療養環境の改善や充実した医療を提供していく
ため、皆さまからのご支援をお願いしています。頂いた貴重なご寄付は、
医療の研究や機器の購入などに役立ててまいります。

皆さまのご支援を心よりお待ちしております。

お申し込み方法など詳細はホームページをご覧ください

<https://oici.jp/center/effort/donation/>



OICIだより 2022年春号〈季刊〉



特定機能病院 / 地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター

発行 大阪国際がんセンター

編集 事務局 総務・広報グループ

〒541-8567

大阪市中央区大手前 3-1-69

TEL.06-6945-1181 (代表)

2022年4月発行



大阪国際がんセンター

【提携駐車場】

★1…エコロパーク大阪府庁駐車場

★2…谷町筋地下駐車場

(入口は北向き1方所のみ)

補助犬

OK

ほじょ犬

oici
<https://oici.jp/>

検索



@oici.jp



※ QR コードは (株) デンソーウェブの登録商標です。

◆電車でご来院の場合

Osaka Metro「谷町四丁目駅」北改札口から徒歩約5分/
京阪電車「天満橋駅」東改札口から徒歩約10分

◆お車でご来院の場合

東大阪線「法円坂出口」より約5分／東大阪線「森之宮出口」より約8分